	q)	昭和30年3月26日第二種郵便初認可) 第2000万 (1)
2023 日本私立大学協会 (年頃)((1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1	谷岡:私が同会議で高く評価している点が、実は「日本の教育システムを海外に輸出する」という項目なのです。 30年も前になりますが、私が学長に就任した。それまでは留学生が何人、英語のクランズでした。それまでは留学生が何人、英語のクランズでも自分の意見をちゃんと言うことができる。森先生が言う、教養教育、リーバル化しないと思うのです。それは私学の数だけ国際化、グローバル化しないと思うのです。それを色々な意味で多様に広げていくことが本当の意味で多様に広げていくことが本当	(3面からつづく) ふのではないでしょうか。 小出:さまざまな可能性がありますね。 大森:四国の国立5大学が「大学連携推 た森:四国の国立5大学が「大学連携推 の「初等中等教育分科会教員養成部会教職 の「初等中等教育分科会教員養成部会教職 の「初等中等教育分科会教員養成部会教職 の「初等中等教育分科会教員養成部会教職 りがとうございます。次に、教育未来創造 りがとうございます。次に、教育未来創造 の報告でした。 ハル:私学にも広げられる話ですね。あ りがとうございます。次に、教育未来創造 た立場からいかがでしょうか。 クローバル人材
ドレビンドングライン型、 発展してきたのも確か、デシスシングの範 なたたシングの範 たたオンシティングの範 たたす。その一方でもた たたす。その一方でもた たたうしましたた たたの時いは続きます たたうしました たたの職いは続きます たたうした状況のも		A 大協への期待、 A 学全体の 振興方策 を検討
www.www.www.www.www.www.www.www.www.ww	そして、コロナ禍では本学もCOILとまではいきませんが、海外の大学とオンラインによる教育が進展したのはオンラインによる教育が進展したのはよい効果だと思います。 ただ残念ながらオンラインでは、外国の かなか見聞きできない。 これは国内での地域連携教育も全く同じ です。中山間地域の高齢者とオンラインに だと思ってしまう。しかし、実際にそこに 行けば、もう腰まで雪に埋まっていますが、 う。この五感を通じた体験こそがすごく大 う。この五感を通じた体験こそがすごく大 う。この五感を通じた体験こそがすごく大 です。今年から海外研修は始まっていますが、 これたくないですか、寒いですね。 つても、そこは欠かしたくないですね。 です。大変ではあるのですが。	#台でバリバリやっていく人材を 「グローバル化」、つまり、群馬県の 「グローバルカが必要になるわけで 、その保護者は県内で働いていて 、その保護者は県内で働いていて 「グローカル」です。 「「グローカル」です。 「「グローカル」です。 「「グローカル」です。 「「グローカル」です。 「「グローカル」です。 「「グローカル」です。 「「」」」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、
マンチだ しょう。。 しょう。。 しょう。。 しょう。。 しょう。。 しょう。。 しょう。 しょう。 しょう。 しょう。 しょう。 しょう。 し、 し、 しょう。 しょう。 し、 し、 しょう。 しょう。 しょう。 しょう。 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 ながらし、 大学 で学んでいかなければな し、 な社会とな し、 な社会とする し、 な社会に大きく 寄せ合い、困難に 大学 で学んでいかなければな たたちは変化 の 素は なたたちは変化 の たたちは変化 の たたちは変化 の たたちは変化 の たたちは変化 の たたちは変化 の たちは 変化の 満たたな な たたちは変化 の で い し、 たたちは 変化 の たたちは 変化 の で い し、 たたな たたな 変化 の で で や の で で し、 たたな に 大学 で 学 で や ん で や 、 新たたな に 大学 で 学 で や ん で や 、 新たたな に 大学 で 学 ん で や 、 新たたな に 見 で す 。 の で し い し い し い し い し い し い し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、るの私らるがが事 掛で研もらの言 企と育社大究よ	小出:ありがとうございます。次のテー マはガバナンスについてです。新年の通常 マはガバナンスについてです。新年の通常 マはガバナンスについてです。新年の通常 マはガバナンスの新体制づくりという話が出てき ます。 へ原:この話も紆余曲折があり、大変苦 労しました。そもそも私学法改正の狙い だどのガバナンスの発想から入ってきて いる。審議の過程で度々出てきたのは「会 た業、会社の目的は、儲けを1円でも多 くする、あるいはマーケットシェアを0・ 1%でも増やすことです。それを重視して 命令系統ができています。一方、大学教育 を見た場合、組織の目的はそれほど単純で ももりません。

教

育

学

術

新

聞

(昭和30年3月28日第三種郵便物認可)



国の大学の皆さんとの連携を楽しみにしたのハブになるのかなと思います。改めて全るのであれば、私大協がそのネットワークたように、大学間のネットワークが機能す いです。

は、最後になりますが、私大協への期待な小出:ありがとうございます。それでれは私学いじめになるのではないですか。しいのではないですか。つきつめれば、こ

どをいただけければと思いますが。

と言うか文化と言うか、こうした風潮をひ 地方の私立大学の意見をきちんと反映させ ていくということも大事です。しかし、 「定員割れ大学は駄目大学」みたいな世論 大森:政府の方針や政策に対して、特小出:大森先生、いかがでしょうか。 特に

としての私大協

ネ

ットワ

クの

ハブ

あります。このような時こそ、我々はもうたせる光が見えてこない、暗い気持ちでもくるとは思います。逆を言えば、希望を持め、私学にとってより厳しい時代に入ってそれから修学支援新制度の機関要件はじ と思うのです 一度、原点に戻る必要があるのではないか

る、地域に根差した教育をさらに推し進め 多いです。だからこそ、地域にとって誇り となる、そして、地域にとって魅力とな 私学はその地域の人たちが興した大学が

一部の大規模大学の意見によって方針 ーシティの重要性」は人材のみ

コロナ禍で培った「ピンチをチャ Ø

その支援と世論づくりこそ、私大協の役